

## A. スパークプラグの交換

スパークプラグはエンジンの燃焼室で1分間に1,000回~3,000回以上の点火を繰り返し、しかも確実に点火することでエンジンの運転を安定させます。  
スパークプラグは使用していくうちに性能が徐々に低下する消耗部品なので定期的な交換が必要です。

**スパークプラグはヤマハガスヒートポンプ用純正スパークプラグしか使用できません。**



新品の純正スパークプラグ



交換時期のスパークプラグ

## B. エレメントの交換

エンジンへの吸入空気をきれいにしてエンジンを守るエレメントは、大気中のごみやほこりの付着などで汚れたり目詰まりをおこします。汚れたエレメントは吸入空気量を低下させることにより燃焼効率を悪化させ、エンジン性能を低下させるため、定期的な交換が必要です。



4000時間使用

新品

エレメント1/エレメント2



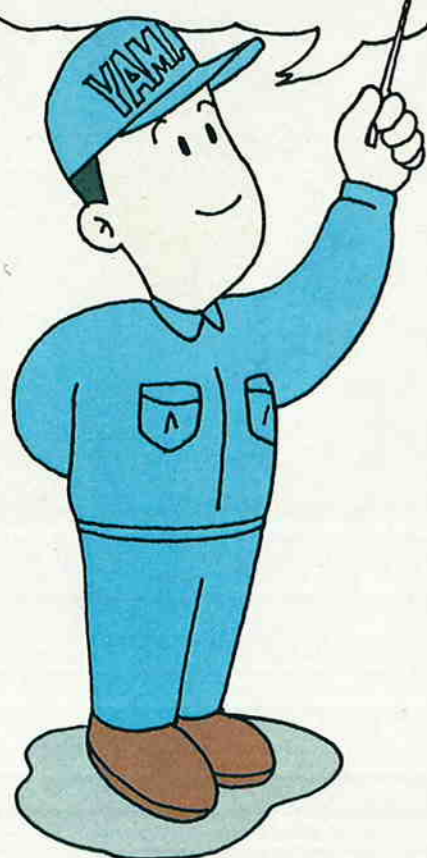
## C. エンジンオイルの交換

エンジンオイルには各摺動面に油膜を作り摩擦抵抗を低減する役割と、ピストンを冷却したり、エンジン内の錆を防いだり、汚れを除去したりといった様々な機能があります。  
エンジンオイルを長期間交換せずに使用すると、熱や酸化などによってオイルの性能が低下し、はなはだしい場合にはグリス状となりエンジンが損傷します。  
エンジンを守り、エンジン本来の性能を維持するためにはエンジンオイルの定期的な交換が必要です。

**純正オイルは各種のテストにより、ヤマハガスヒートポンプエアコンのエンジンに最も適した性状となっています。純正以外のオイルではエンジンの要求する性能を満たせない場合がありますので、絶対に純正オイルをご使用ください。**



ここでは、スパークプラグやエンジンオイルをはじめとする7種類の定期交換部品について、その役割を簡単に紹介します。



## D. タイミングベルトの交換

タイミングベルトが劣化したり、傷ついたりすると切れることがあり、エンジンが止まってしまう。場合によってはピストンとバルブが干渉しエンジンを壊してしまう恐れもあります。大切なエンジンを守るためには定期的な交換が必要です。



## E. 冷却水の交換

冷却水の量が減少するとエンジンがオーバーヒートを起し、停止してしまいます。また、冷却水は徐々に変化するため、防錆能力が低下しエンジン内部に錆が発生することがあります。  
エンジンの安定した運転のためには冷却水の定期交換が必要です。



**GHP専用のヤマハ純正冷却水を必ずご使用ください。**

## F. オイルフィルタの交換

オイルフィルタの汚れが進むと目詰まりを起し、エンジンオイルの汚れを除去できなくなります。そして汚れたオイルがそのままエンジン各部に送られると十分な潤滑ができず、クランクシャフトやカムシャフト、シリンダなどに摩耗をひきおこすことがありますので定期的な交換が必要です。



## G. コンプレッサベルトの交換

コンプレッサベルトが劣化するとベルトが滑り、冷媒を圧縮できなくなるためエアコンの機能が停止してしまいます。快適な空調を行うためには定期交換が必要です。



劣化したベルト

新品